# 留学だより⑫

ナマステー１AFS でインドのパンジャーブ州に留学している井之前です。やっと二月まで追いつくことができました。留学だよりはコツコツ書くべきだと今更気づきました。ぜひ最後まで読んでください！今月は、

１．留学だより実況中継！
２．HAPPY　VALENTINE
３．エドシーランのコンサートに行く！
４．Holi！！！
５．Navratri
この５本立てでお送りします！

## １．留学だより実況中継

留学も半分がすぎて今までの成果を存分に紹介する会。その名も「留学だより実況中継」。16 期は留学生が多かったので 2 回に分けて開催されました。
やはり今までの 6 か月間を 20 分の発表にまとめるとなると難しく、発表資料をノロノロと作り、前日に仕上げようと思っていたところ急遽ホストファミリーが夜に結婚式に行くと言うので、結局当日の朝 2 時くらいまで結婚式でダンスしていました。20%くらいしかできていなかったので徹夜で頑張って仕上げました。ああ大変。

本番では留学だよりでは伝わらないことだったりみんなからの質問に答えたりしました。イタリア、フィリピン、カナダの留学生と一緒に発表したのでそれぞれの国の物価を比較したり、学校の様子だったりを聞けて楽しかったです。また、他の留学生の話を聞くと励みにもなったし、これからもっと頑張ろうと思えました。
もし「留学だより実況中継」を見ていた方がいらっしゃいましたら、ぜひ感想を教えていただきたいです。

## ２．HAPPY　VALENTINE

ハッピーバレンタイン！皆さんは友チョコ、義理チョコ、本命チョコ渡せたでしょうか？
インドでも日本や欧米同様にバレンタインを祝う風習があります。
日本と違うのが「女性から男性へチョコを贈る」といったルールはなく、お互いにプレゼントし合うのが一般的であることです。またインドは多くの宗教や価値観をもつ国なので、バレンタインを祝わない人たちもいるというのもまた事実です。

インド特有のバレンタインの祝い方として「バレンタイン・ウィーク（Valentine Week)」という独自の文化があります。2 月 7 日から 14 日までの 1 週間、毎日異なるテーマで愛を表現する日が続きます。なんてロマンチック。

2 月 7 日「ローズデー（Rose Day)」
2 月 8 日「プロポーズデー（Propose Day)」
2 月 9 日「チョコレートデー」
2 月 10 日「テディデー」(テディベアを渡す)
2 月 11 日 Promise Day（約束を交わす）
2 月 12 日 Hug Day(ハグをすることで愛情を表す)
2 月 13 日 Kiss Day（キスで愛情を表現）
2 月 14 日 Valentine’s Day（恋人や愛する人と過ごす）

まさかの 1 週間は長すぎだろとつっこみたくなりますが、チョコレートデーとバレンタインデーだけを祝う人もいるので人それぞれです。
諸説ありますが、日本同様に企業のマーケティング戦略だったり、SNS の普及で爆発的に流行しているという説があります。
学校では、この時期にカップルがたくさんできるそうです。そして連日、学校のお菓子屋さんではチョコレートがごっそりなくなっていて品薄です。私は仲の良い友達とチョコレートを交換しました。そして何個とは言わないですが、結構チョコレートを貰いました。おいしくいただきました。
そしてホストファミリーからは、なんとバラとリンツのチョコレートの缶を貰いました。今まではお花が枯れちゃうくらいならおいしく食べられるお菓子の方がいいと思っていましたが、バラを貰うのはやっぱり心が温まりますね。

## 3．エド・シーランのライブに行く！

今年の 1 月から 2 月にかけて行われたエド・シーランがインド 6 都市を巡る「+−=÷×（Mathematics)」に行きました。6 都市(プネー、ハイデラバード、チェンナイ、ベンガルール、シロン、デリー)のうちデリーでの公演に参加しました。エドシーランはインド好きと言われていて、ヒンディー語の歌があったり、私の住むパンジャーブ州で最も有名な歌手とコラボしたライブを 3 年前に行うなどしていたりします。3 年ぶりにインドでのライブをするということで、こんな絶好の機会は逃せないと思って、12 月のチケット発売の日にはホストシスターと一緒にチケットを予約しました。予約開始でほぼチケットが売れてしまうほどで、インドではそんなに有名というイメージはなかったけれど、人口比を考えると日本と同じくらいあっという間に売り切れてしまうんだなぁと思いました。昨年は日本でもライブをしていて、その時のチケットの値段と比べると半分以下で、結構リーズナブルだなと言うのが印象でした。

ついにコンサート当日はホストシスターと一緒にポスターを作ったり夜寝る前に歌詞の復習をしたりしました。なんともかわいい。当日は夕方からの公演だったので、朝 10 時頃にデリーに向けて出発しました。デリーまでは車で 3 時間程で、3 時間の道のりはずっと Netflix のイカゲーム 2 を見ていました。1 とは一味違うストーリーがとても面白かったです。

お昼ご飯は豪華なホテルで食事をさせてもらいました。さすが大富豪という感じです。ビュッフェで久しぶりにノンベジタリアンのチキンやハムなどを食べることができました。海外の人も多く宿泊するホテルなので、海外の食事をお願いすると目の前で作ってくれるサービスもありました。日本食もあって、鉄板焼きやお好み焼きがありました。鉄板焼き？と思いましたがオーダーしてみるとチャーハンの醤油強めみたいな味付けでインド人好みの味になっていましたが、とても美味しくてホストファミリーも気に入った様子でした。

食事を終えるとついにコンサートが始まります。私が想像していたのは東京ドームのように一人一席あると思っていたので野外フェスのようになっていた時はとても驚きました。案の定みんな前の方で見ようとしてぎゅうぎゅうで 150 ㎝の私にはどうあがいてもエドシーランがただの動く棒にしか見えませんでしたが、歌声は最高でした。

コンサートは非常に楽しかったですが、ひとつ気づいたことは一人一席用意されたコンサートに行くべきだということです。

## 4，Holi！！！

Holi（ホーリー）は、インドやネパールで春の訪れを祝うヒンドゥー教の祭りで、「色の祭り」として知られています。毎年 3 月頃、満月の日に行われ、神話では悪魔を倒した「善の勝利」と春の訪れを祝う意味があります。
お祭り当日はカラフルな色粉や色水をかけ合い町中が赤・青・黄・緑などの鮮やかな色でいっぱいになります。年齢や立場に関係なく「Happy Holi!」と声を掛け合い、笑顔で色を投げ合う姿が見られるのが特徴です。Holi はまた、人々の関係を新しくする日でもあり、過去のわだかまりを忘れて仲直りするきっかけともされています。インドらしい開放的でにぎやかな行事です。

一方でみんながお祭り気分でテンションが上がってしまうため、お酒を飲んで酔っ払った人や、生卵を投げる人、大人数で誰に色の粉をつけられるかわからないので痴漢行為などが多発します。そのため私のホストファミリーを含め多くの友達は家で家族と親戚と一緒にお祝いするのが定番のようです。

家族でお祝いするといってもかなりの人数がいるのでホストファミリーは大量の色の粉を爆買いし、ホストシスターと私に店で一番大きい水鉄砲を買ってくれました。
ホーリー当日は朝からホストシスターと一緒に水鉄砲を作り、家の大きなプールに水を溜めます。水がたまると本格的に遊びあいます。皆で思いっきり色の粉をつけあって服も肌もカラフルになります。私はお風呂に入っても爪の間が緑色でした。
また、次の日学校に行くとみんなの肌がいろんな色に染まっていて、お互いにホーリーがどうだったか自慢しあっているのも見ていてとても楽しいです。

## 5．Navratri

春の Chaitra Navratri（チャイトラ・ナヴラトリ） では女の子の祝福をします。日本でいうひな祭りのようなものです。小学校高学年くらいまでの女の子は女神の象徴として迎得られます。これは「Kanya Puja（カンヤ・プージャ）」と呼ばれています。女神ドゥルガーの化身である少女たちに敬意を表し、幸福や健康、繁栄を祈るのが目的だそうです。
最初に足を洗い清め、その後におでこに色粉（Kumkum や Haldi）で印をつけます。そして食事やお菓子、少額のお金や小さな贈り物を渡します。

このお祭りは小さい子が対象ですが、家庭によっては未成年の女の子を対象にする家もあります。友達は小さい頃はよく近所の家を回ってプレゼントや豪華な食事をしていたそうです。

私のホストファミリーは朝から豪華な食事を用意してくれて、学校に行く前に puja（お祈りの儀式）をしてくれました。儀式に加えてプレゼントと私の好きなお菓子の詰め合わせをプレゼントしてくれました。おばあちゃん、おじさん、おばさんからはお金をもらいました。そして学校に行くと友達のおでこにも赤い粉で印がつけられていて女の子にとっては大切な儀式だと感じました。

## あとがき

12 号はいかがだったでしょうか。結構内容盛りだくさん、知識盛りだくさんの留学だよりになってしまいましたが楽しんでいただけたら幸いです。13 号を最終号にしようと考えていますが作者の宿題の終わり具合によって左右します。次号もお楽しみに！！

16 期　井之前